

# 平成29年度入試【推薦入試Ⅰ】

## 【小論文2】

(法文学部)

### 注意

- 1 問題紙は指示があるまで開いてはいけない。
- 2 問題紙は6ページである。解答用紙は2枚、下書き用紙は2枚である。  
指示があつてから確認し、解答用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 3 答えはすべて解答用紙の所定のところへ記入すること。
- 4 解答用紙は持ち帰ってはいけない。
- 5 試験終了後、問題紙、下書き用紙は持ち帰ること。

**小論文2**

- ① 次の文章を読んで後の問い合わせに答えなさい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(内藤正典『ヨーロッパとイスラーム—共生は可能か—』より。一部改変。)

- (1) 下線部①「自由意思の尊重とアパルトヘイトという強制隔離は紙一重の違い」とあるが、この点についてオランダの教育政策と南アフリカのアパルトヘイトとの類似点と相違点を説明しなさい。

- (2) 下線部②「この国独特の多文化主義」とはどのようなことか、本文に即して説明しなさい。

[2] 二つの文章 A, B を読んで後の問い合わせに答えなさい。

A

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(橋木俊詔『新しい幸福論』より。一部改変。)

B

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(杉村芳美「人間にとって労働とは—「働くことは生きること」—」より。一部改変。)

- (1) 二つの文章A, B の対立点をまとめなさい。
- (2) 二つの文章A, B をふまえて、働くことについてあなたはどのように考えるか、論じなさい。